

白山美川伏流水群 平成の名水百選

『平成の名水百選』は平成20年5月、全国各地の湧水、河川、用水、地下水の中から100カ所が選ばれました。環境省が同年7月に開催の「洞爺湖サミット」が環境問題を中心とした議題になる事をきっかけに選定したものとされています。

昭和60年に『名水百選』が選定され、この(昭和の)「名水百選」から20年以上が経過していることから、周辺の状況が変化している可能性があります。環境省では環境や社会情勢の変化も踏まえ、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水の水環境の中でも、特に地域住民による自主的かつ継続的な水環境の保全活動が行われているものを、現在の「名水百選」に加え、平成の名水百選」として選定を行い、100箇所を選定したもので、全国の名水百選は併せて200選となりました。石川県からは今回4箇所選定され、昭和の名水百選の3箇所と合わせ、計7箇所となりました。**白山百年伏流水(霊峰白山を源とした伏流水が100年かけて湧き出る命の水)**百年前(生まれる前)の水を飲んでみたいと思いませんか? 歴史と自然・生命の息吹を感じると思います。 霊峰白山は水の神様・女神様です。

安産(やすまる)銘水



蓮池の水



お台場の水



大浜の水



呉竹水荘



これらの他に、湊地区から美川地区、蝶屋地区の平加町～蓮池町にかけて(海に近い地区)特に安産川下流域(平加町、和波町、浜町、永代町、南町)に多く、公認のものだけでも20箇所以上あります。

平加町でも美川ボランティアセンター裏の「トミヨ増殖池」付近の民家のほとんどの掘抜き井戸がほぼ年間通じて自噴しています。

安産川(やすまるがわ) その川の水を飲むと安産・子宝に恵まれると言われる

巣作り子育てをする、可愛い珍しい淡水魚トミヨが生息する湧水の川

安産川は霊峰白山を源とする手取川の最下流部に合流する支流です。源流は河口より約3km上流の白山市水島地内で、河口は手取川の河口付近(白山市美川地域)で合流します。登録は一級河川です。

流域は手取川扇状地の最も先端部に位置するため、過去よりその流れの殆どは地下水が湧き出たものです。流れの殆どが白山手取川の伏流水であるので、水温は冷たく、夏でも14～20度を上まることはありません。生活に密着した信仰の川で、昔からの言い伝えでは「その川の水を飲むと諸病を癒し、子宝・安産に恵まれる」と言われていました。

安産川は手取川扇状地の最下流でありながら、水は済みきっており、低温であることから、梅花藻やミクリ・フサモなどの水草が豊富で、湧水域に生息する淡水魚トミヨ(当地では通称「はりんこ」)やシマドジョウ・スナヤツメなどの魚類が生息しています。以前から地域住民の生活に密接に関わっていたこともあり、農業水・飲料水・洗濯・食品加工などに利用されています。

安産川の流れと清流の証である水草「ナガエミクリ」



湧水のシンボリックな水草「梅花藻(バイカモ)」



湧き水「安産銘水」が流れ込む「親水公園」



安産桜と安産日吉神社



湧水のシンボル トミヨ(はりんこ)

石川県以北の日本海側で湧水のある水域に生息している淡水魚。地下水(湧き水)の減少により全国的にその生息域が極端に狭められています。 石川県指定天然記念物(絶滅危惧種 第1類)



まちづくりグループ はりんこ塾

<http://www2.nsknet.or.jp/fuji1/>